

第102回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

議 事 録

(平成18年10月)

2006.10.26

株式会社 岩手朝日テレビ

## 第102回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成18年10月26日(木)午前11時～

2. 開催場所 岩手朝日テレビ 3階 会議室

3. 委員の出席

委員総数 9名

出席委員数6名

委員	長	増	子	義	孝
委	員	稲	垣	義	孝
委	員	小	田	利	昭
委	員	松	尾	正	弘
委	員	宮	野	裕	子
委	員	村	田		久

欠席委員数3名

委	員	笠	川	さ	ゆり
委	員	高	橋	真	裕
委	員	松	本	直	子

会社側出席者名

代表取締役社長	川	崎	道	生
常務取締役営業局長	幾	度	恭	嘉
常務取締役	小	倉	潔	
取締役報道制作局長	小	椋	和	雄
技術局長	佐	々	正	樹
編成業務局長	渋谷		知	行
報道制作部	大	久	洋	一
番組審議会事務局長	佐	藤	祐	介

#### 4 . 議 題

( 1 ) 1 1 月単発番組について

( 2 ) 番組合評

I A T 開局 1 0 周年記念番組

「悠久のときを求めて～残したい岩手の光景」

( 3 ) 次回審議会

開 催 日 : 平成 1 8 年 1 1 月 3 0 日 ( 木 ) 1 1 時 ~

合評課題 : 「楽茶間～イワテヲオモシロクスルテレビ～」

放送日時 : 毎週土曜日 9 時 3 0 分 ~ 1 0 時 2 5 分

#### 5 . 概 要

\* 映像がとても綺麗だった

\* 番組タイトルと内容との差がありすぎた

\* 自然と人とのふれあいが伝わってきた良い番組だった

\* もっと深く掘り下げて紹介してもらいたかった

\* タイトルに相応しい場所を選択して紹介してもらいたかった

## 6. 議事の内容

佐藤事務局長      ただ今より、第102回岩手朝日テレビ放送番組審議会を始めます。本日欠席されております委員の方は、笠川先生、高橋先生、松本先生です。  
また、本日は、合評番組の制作担当者の報道制作局、大久保洋一が出席しております。  
後ほど、合評の際よろしく申し上げます。  
それでは、増子委員長議事をお願いいたします。

増子委員長      それでは川崎社長、一言申し上げます。

川崎社長      本日も大変お忙しい中ご出席賜りまして、ありがとうございます。

先ず最近の動きについてご報告申し上げますと、一昨日、東京で第54回民間放送全国大会が開催されました。

開会の挨拶で、民放連の会長であります、テレビ朝日の広瀬会長が、今後、デジタル化を進めていく中での様々な問題について話されたが、特に、経費面において「99%は自力でやっていくが、残りの1%は、どうしても放送事業者だけでは対応できないこともある。国や自治体の力をおかりしたい」と述べておりました。

一方、先日10月1日には、お蔭様で岩手民放4局が揃って地上デジタル放送をスタートさせることができました。

当日(10/1)は、お隣のアイーナを会場に、岩手県をはじめ、総務省、国会議員等来賓の方々にもご出席いただき、「岩手民放4局地上デジタル放送開始」記念式典を開催いたしました。

また、記念式典以前の9月29日から3日間、民放4局が共同で「テレビ未来博岩手2006」と銘打ち、地上デジタル放送のPRイベントを開催しました。

3日間トータルで約1万3千人の来場があり、特に最終日には、テレビ朝日系列局である、HTB・北海道テレビ放送の人気バラエティ番組のプロデューサーのトークショーも開催されたこともあり、アイーナ開場以来の新記録となる約6000人の入場者が楽しんで頂いたようです。

以上が最近の動きでございます。

増子委員長      ありがとうございました。  
それでは、11月の単発番組について申し上げます。

渋谷編成業務局長      それでは11月の主な番組についてご説明させていただきます。

3日 25時 20分からは「朝まで生テレビ」、4日 18時 30分からは「イオン日米野球 2006」日本選抜対メジャーリーグ選抜の第2戦の様態を、翌5日も 18時 30分から日米野球の第3戦の試合をお送りいたします。

5日、午前8時から「全日本大学駅伝」の様態を、また 21時から、「日曜洋画劇場」の枠で、松本幸四郎主演のスペシャルドラマ「信長の棺」を放送いたします。

11日 12時 55分からは「コナミカップ アジアシリーズ 2006」を、また 16時から、「伊藤園レディースゴルフトーナメント 2006」第二日目の様態を、翌12日も 16時からトーナメント最終日の様態を放送いたします。

19日 12時から、「東京国際女子マラソン」の様態を、21日 19時から、日本対韓国の「サッカー五輪代表・日中韓交流戦」の試合の様態をお送りいたします。24日深夜は「朝まで生テレビ」、25日 21時 3分からは2夜連続で「ドラマスペシャル 氷点」をお送りいたします。単発番組は以上です。

それでは10月の視聴率についてご報告いたします。

今月の視聴率は全日で7.5%の第4位、ゴールデンが14.3%で第2位、プライムが13.6%で第3位、プライム2が5.4で第3位となりました。

なお、10月の視聴率はめんこいテレビさんが全てにおいて第1位でした。

番組別では、岩手の盛岡、雫石が旅の舞台となった10月15日放送の「旅の香り」が21%の高視聴率となりました。

また、ベルト番組の「IATスーパー」チャンネルですが、10月からメインキャスターを伊波アナから山田理アナに変更し、また、スタジオセット、番組テーマ曲も変更し放送しておりますが、平均視聴率で6.6%、前年比プラス1.3ポイント、先月比でもプラス1.2ポイントと好スタートを切った形となっております。

それと、先日おこなわれた「新婚さんいらっしゃい」の岩手での公開録画の放送ですが、視聴率では1週目が15.3%、2週目が14.8%となり、2002年におこなわれた公開録画の放送時の視聴率24.7%と25.1%には残念ながら及びませんでした。視聴率については以上です。

視聴者応答記録については特に大きな問題はございません。私のほうからは以上です。

増子委員長

ありがとうございました。何か質問等ございませんか。

それでは私の方から、視聴率についてですが、めんこいテレビは何で良かったのでしょうか。

渋谷編成業務  
局長

10月2週、3週目までは期末期週で、特番番組の編成が多かったことと、一般的にフジテレビさんは視聴率が強いことが重なった結果だと思います。

川崎社長

フジテレビはバラエティ番組が非常に強いですね。ドラマも高視聴率番組が多いです。めんこいテレビの制作番組が強いということではなく、キー局の番組が高視聴率を取っている、ということです。

増子委員長

分かりました。それでは合評に入ります。

稲垣委員

「悠久のときを求めて・残したい岩手の光景」というタイトルだったもので、個人的に、岩手で何処が良いところなのか、いろいろ聞かれたりすることが多く、また観光案内的に参考になる地はどういったところか等、関心を持ちながら見ていました。

番組で紹介された場所としては、遠野・平泉・盛岡など、岩手の観光地としては欠かせない場所が取り上げられ良かったかと思ったのですが、中身的には冒頭のナレーションで「手付かずの自然を紹介」する様な事を言っていたわりに、遠野の河童伝説などの江戸時代から伝承されてきたお話や、平泉では、中尊寺を中心とする昔の町並みをCG映像で紹介するなど、タイトルと冒頭のナレーション等から私が想像した番組イメージとは違う印象に映りました。

しかし、遠野で馬の調教が行われているのは知りませんでしたので非常に参考になりました。

最後に、ナレーションの女性の方の服装がちょっとアンバランスのように思えました。以上です。

小田島委員

今回はビデオに収録して見ましたが、デジタル放送ということもあり、遠野の朝もやの風景など、映像がとてもきれいでした。

全編を見た感想としては、前半部分は遠野・平泉・北上川などの風景を見せ、後半は、悠久のときを今もこうやって守り続けている人がいる、といった人とのふれあいを伝えたい趣旨の番組であり、一時間そう長くは感じられず良い番組だったと思いました。

しかし、最後のほうで紹介された北上川の場面ですが、やはり岩手県の長い歴史の中で北上川の存在は大きいので、あそこに北上川と岩手県との関わりの歴史や、四季の移り変わりの様子などが紹介されていればもっと良い番組になったの

ではないでしょうか。以上です。

松尾委員

タイトルについては私も同じようにギャップを感じました。「岩手の光景」というタイトルなので、私も岩手山などの綺麗な景色が紹介されると想像しておりましたが、内容とのギャップにアレ?と思いました。

しかし、紹介された文化や歴史、そしてそれを支える人間など、深く掘り下げて紹介されており、番組的には評価が高いものでした。

印象に残ったシーンとしては、平泉の紹介の中で、館長さんのお話がありましたが、「中尊寺に今なお残っている「宋版一切経」というお経を手に入れるために、大量の砂金を引き換えにした」と力説しておりましたが、このことは「信仰心という次元のものではなく、宗教なくしては安定した社会とか、人の心というのにはあり得ないのだ」、というところを突いた良い話だったと思いました。

最後に、ナビゲーションの山崎さんですが、喋りもどことなくぎこちなく、伊波さんのカチツとしたナレーションとのバランスがまいちでした。以上です。

宮野委員

全体の流れとして、非常に景色がきれいに映し出されており、これをデジタルテレビで見ればもっと綺麗なんだろうな~と思いながら拝見しました。

中でも、遠野の朝もやの風景はとてもきれいで、昨年、遠野の記念誌を作ったこともあり、非常に親近感を持ちながら見ていました。

しかし、遠野の次に紹介された平泉、そして盛岡と続きましたが、一つ一つの紹介は観光案内的で良かったと思いましたが、全体的な関連性が私にはよく分かりませんでした。

最後に、ちょっと厳しい意見かもしれませんが、この番組は誰のために作ったものなのかが一番良くわかりませんでした。

以上です。

村田委員

皆さん良いという意見が多かったような気がしますが、私の率直な感想としましては、ぜんぜん良くなかったです。

「残したい岩手の光景」という題名ですが、いったい何を残したいのかがまったく伝わってきませんでしたし、また何を意図して作っているのかも分かりませんでした。

先ず一番に言いたいのは、題名と内容がぜんぜん合致していません。例えば遠野の風景の映像は美しいのですが、なぜ遠野に行ってナビゲータが馬に乗らなきゃいけないのか？

あそこの施設は「遠野馬の里」といい、ごく最近建てられた競走馬の調育成施設ですよ。歴史も浅いですし、また調教されている馬も遠野で生産された馬ではないのですよ。それなのに何故、調教師まで出てきてお話ししたり、また、馬に乗ったりもするのか、「残したい岩手の光景」というタイトルから見てみると、非常に変な思いを感じました。

その前に、伐採した木を馬が引いていったシーンがありましたよね、あの馬は、南部駒といい日本の歴史上においても非常に貴重な品種で、遠野でも今は殆ど見かけなくなった馬です。伐採した木を馬が引く作業風景、あれこそが「残したい光景」ではありませんか。そういうシーンこそもっと掘り下げて取材できなかったのか、非常に残念でした。

また、「南部曲り家」の紹介もありましたが、あそこのシーンは余りにも説明が簡単過ぎます、「曲り家」の特徴は、そこに暮らす人々が馬を家族同様に扱うため、家の中で焚いた火の熱が、馬の背を暖める為、馬を冷やさない為に曲がった造りになっているんです。そういう説明も欠けていましたし、また、遠野で本当に残したい光景となると「五百羅漢、早池峰神社」など、もっともっと紹介すべき場所があったはずですよ。

場所の選択ミスが一番大きいです。これは「残したい岩手の光景」のタイトルとはまったく関係ない番組です。

企画、撮影するにあたって、本当に内容をきちんと把握した上で制作したのか非常に疑問です。

今回の番組は本当に楽しみにしていて、周りの皆にも「是非見てね」と紹介していただけに、非常に残念でした。

増子委員長

岩手県のことをあまり知らない方が見る番組としては、良かったと思います。

ただ、一時間の枠内に押し込めるのは少々無理があったのではないのでしょうか？この番組は、シリーズ化して放送するほうが良いのではないのでしょうか。残したい光景は岩手にはたくさんありますし、また自然などを紹介する場合、取材期間も長いことやらないといい映像が取れないでしょう。

ということ全体として感じました。

ちょっと気になった点は、遠野の語り部の方が出ていましたが、僕たちの年代なら話の内容は理解できましたけど、若い方々は理解できないかもしれませんね。ナビゲーターの女性がうまいタイミングで話の合間にコメントしていましたが、十分ではありませんでした。もう少し分かりやすいコメントが必要でしたね。

以上です。



増子委員長

委員の意見を聞いて、大久保さん何かございますか？

報道制作部  
大久保

貴重なご意見ありがとうございました。

まずタイトルの件ですが、宣伝が不十分なこともあったのですが、この番組は、今年4月から、40回シリーズで「スーパーJチャンネル」の中でシリーズで放送しております「残したい岩手の光景」の流れをくむ番組ですが、正式なタイトルは「悠久のときを求めて」になります。今回タイトルを決める際に、サブタイトルについての議論もありましたが、40回シリーズで放送している「残したい岩手の光景」のPRといえますか、繋がりも考慮し、サブタイトルを残しました。

しかし、制作された内容については、これまで放送されてきた「残したい岩手の光景」のダイジェスト番組ではなく、新規に制作された番組で、タイトルと番組内容との関係など、告知の部分も含め不足していた点があったことは反省致します。

また、「取材場所が不足している」とのご指摘のありました「早池峰、南部駒」などについてですが、これまでレギュラーで取り上げたもの、或いは今後取り上げる予定の題材なので、これらは全て除いた企画となっております。

また、平泉のCG映像の場面の件ですが、あのCGは、平泉町さんからお借りした素材で、当初、素材がデジタルではないので使わないか？という議論もありましたが、番組の流れとしてあの場面でCGを入れないと、当時の様子などが伝わらないだろう、との結論からCGを使用したものです。

遠野、平泉、盛岡の三つのネタの関連性が分かりにくかったこと、また、もっと掘り下げ且つ長期間にわたる撮影等ができなかったことに関しては、制作期間が短かったことありますが、制作体制が十分でなかったこと等、反省しております。

本日は、今後の番組作りにおける貴重なご意見等をお話いただきまして、大変ありがとうございました。

増子委員長

「残したい岩手の光景」の40回シリーズはもう終了したのですか？

報道制作部  
大久保

現在、24回放送されております。

増子委員長

そうでしたか。

今後、この番組がもっと注目され、各地域から「この光景

を取り上げて欲しい」といった声が出て、最終的には「岩手の残したい光景100選」とでも題し、放送できたなら素晴らしいことではないでしょうか。

増子委員長                    それでは、次回の開催についてお願いします。

佐藤事務局長                今回は、11月30日(木)に開催いたします。  
合評番組は、毎週土曜日に放送されております「楽茶間」  
です。

今週10月28日～次回の番審まで、計5回の放送がございますが、中でも、11月11日の放送は、放送開始第100回記念番組として宮古市からの放送を予定しております。

なお、資料としてお配りしておりますが、同番組の視聴率を見ますと同じ時間帯の他局の情報番組と比較しまして、現在苦戦をしている状況でございます。

次回の番審の際は、どうぞ厳しいご意見も含め合評戴きますよう宜しくお願いいたします。

以上です。

増子委員長                    それでは終了します。ありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

ご指摘頂いた点を、今後の番組作りの参考とすることとした。

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

11 / 1 朝日新聞岩手県版に審議概要を掲載。

系列各局に議事録を送付。

本社受付に議事録を常備、閲覧に供す。

インターネットホームページに掲載。

9. その他の参考事項

特になし

10. 配布資料

11月単発番組編成予定表

10月岩手地区視聴率

10月視聴者応答記録